

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-533825(P2004-533825A)

【公表日】平成 16 年 11 月 11 日 (2004.11.11)

【年通号数】公開・登録公報 2004-044

【出願番号】特願 2002-582213(P2002-582213)

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09
 A 6 1 K 38/00
 A 6 1 K 39/395
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 P 9/10
 A 6 1 P 13/12
 A 6 1 P 17/06
 A 6 1 P 19/02
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 35/00
 C 0 7 K 14/47
 C 0 7 K 16/18
 C 0 7 K 16/32
 C 1 2 N 1/15
 C 1 2 N 1/19
 C 1 2 N 1/21
 C 1 2 N 5/10
 C 1 2 P 21/08
 G 0 1 N 33/15
 G 0 1 N 33/50
 G 0 1 N 33/53

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A
 A 6 1 K 39/395 Y
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 P 9/10
 A 6 1 P 13/12
 A 6 1 P 17/06
 A 6 1 P 19/02
 A 6 1 P 29/00 1 0 1
 A 6 1 P 35/00
 C 0 7 K 14/47
 C 0 7 K 16/18
 C 0 7 K 16/32
 C 1 2 N 1/15
 C 1 2 N 1/19
 C 1 2 N 1/21
 C 1 2 P 21/08
 G 0 1 N 33/15 Z
 G 0 1 N 33/50 Z
 G 0 1 N 33/53 D

C 1 2 N 5/00 A
A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月8日(2005.4.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号：200に示されるようなTEM3タンパク質の細胞外ドメインと特異的に結合する抗体可変領域を含む単離された分子。

【請求項2】

完全な抗体分子である、請求項1の単離された分子。

【請求項3】

単鎖可変領域(ScFv)である、請求項1の単離された分子。

【請求項4】

モノクローナル抗体である、請求項1の単離された分子。

【請求項5】

ヒト化抗体である、請求項1の単離された分子。

【請求項6】

ヒト抗体である、請求項1の単離された分子。

【請求項7】

細胞毒性部分と結合している、請求項1の単離された分子。

【請求項8】

治療用部分と結合している、請求項1の単離された分子。

【請求項9】

検出可能部分と結合している、請求項1の単離された分子。

【請求項10】

抗腫瘍剤と結合している、請求項1の単離された分子。

【請求項11】

血管新生を阻害する方法であって、血管新生が阻害されるよう、配列番号：200に示されるようなTEM3タンパク質の細胞外ドメインと特異的に結合する抗体可変領域を含む単離された分子を、有効量、その必要がある被検体へ投与することを含む、方法。

【請求項12】

被検体が血管が新生した腫瘍を有する、請求項11の方法。

【請求項13】

被検体が腎多嚢胞病を有している、請求項11の方法。

【請求項14】

被検体が糖尿病性網膜症を有している、請求項11の方法。

【請求項15】

被検体が慢性関節リウマチを有している、請求項11の方法。

【請求項16】

被検体が乾癬を有している、請求項11の方法。

【請求項17】

腫瘍成長を阻害する方法であって、腫瘍の成長が阻害されるよう、配列番号：200に示されるようなTEM3タンパク質の細胞外ドメインと特異的に結合する抗体可変領域を含む単離された分子を、有効量、腫瘍を保持している被検者へ投与することを含む、方法。

【請求項 18】

配列番号：200に示されるようなTEM3タンパク質と特異的に結合する抗体可変領域を含む単離された分子。

【請求項 19】

単鎖可変領域（ScFv）である、請求項18の単離された分子。

【請求項 20】

モノクローナル抗体である、請求項18の単離された分子。

【請求項 21】

ヒト化抗体である、請求項18の単離された分子。

【請求項 22】

ヒト抗体である、請求項18の単離された分子。

【請求項 23】

細胞毒性部分と結合している、請求項18の単離された分子。

【請求項 24】

治療用部分と結合している、請求項18の単離された分子。

【請求項 25】

検出可能部分と結合している、請求項18の単離された分子。

【請求項 26】

抗腫瘍剤と結合している、請求項18の単離された分子。

【請求項 27】

完全な抗体分子である、請求項18の単離された分子。

【請求項 28】

配列番号：200に示されるような単離および精製されたヒト膜貫通タンパク質：TEM3。

【請求項 29】

配列番号：200に示されるような膜貫通TEM3のコーディング配列を含む単離および精製された核酸分子。

【請求項 30】

配列番号：199および359に示されたものより選択されるコーディング配列を含む、請求項29の単離および精製された核酸分子。

【請求項 31】

配列番号：200に示されるような膜貫通TEM3のコーディング配列を含む核酸分子を含む組換え宿主細胞。

【請求項 32】

配列番号：199および359に示されたものより選択されるコーディング配列を含む、請求項31の組換え宿主細胞。

【請求項 33】

哺乳動物において免疫応答を誘導する方法であって、哺乳動物においてヒト膜貫通タンパク質に対する免疫応答が誘導されるよう、配列番号：200に示されるようなヒト膜貫通タンパク質TEM3のコーディング配列を含む核酸分子を哺乳動物へ投与することを含む、方法。

【請求項 34】

コーディング配列が配列番号：199に示されたものである、請求項33の方法。

【請求項 35】

哺乳動物において免疫応答を誘導する方法であって、哺乳動物においてヒト膜貫通タンパク質に対する免疫応答が誘導されるよう、配列番号：200に示されるような精製されたヒト膜貫通タンパク質TEM3を哺乳動物へ投与することを含む、方法。

【請求項 36】

内皮細胞調節に関与しているリガンドの同定のための方法であって、配列番号：200に示されるような単離および精製されたヒト膜貫通タンパク質TEM3と、試験化合物を接触させること；

配列番号：200に示されるようなTEMタンパク質3の細胞外ドメインと特異的に結合する抗体可変領域を含む分子と、単離および精製されたヒト膜貫通タンパク質を接触させること；

抗体可変領域を含む分子の、ヒト膜貫通タンパク質との結合を決定し、抗体可変領域を含む分子の、ヒト膜貫通タンパク質との結合を消滅させる試験化合物を、内皮細胞調節に關与しているリガンドとして同定することを含む、方法。

【請求項37】

内皮細胞調節に關与しているリガンドの同定のための方法であって、

配列番号：200に示されるようなヒト膜貫通タンパク質TEM3を含む細胞と、試験化合物を接触させること；

配列番号：200に示されるようなTEM3の細胞外ドメインと特異的に結合する抗体可変領域を含む分子と、細胞を接触させること；

抗体可変領域を含む分子の、細胞との結合を決定し、抗体可変領域を含む分子の、細胞との結合を消滅させる試験化合物を、内皮細胞調節に關与しているリガンドとして同定することを含む、方法。

【請求項38】

膜貫通ドメインを欠いている、配列番号：200に示されるようなヒト膜貫通タンパク質TEM3の可溶型。

【請求項39】

ヒト膜貫通タンパク質の細胞外ドメインからなる、請求項38の可溶型。

【請求項40】

患者における血管新生を阻害する方法であって、患者における血管新生が阻害されるよう、請求項38記載のヒト膜貫通タンパク質の可溶型を、患者へ投与することを含む、方法。

【請求項41】

患者における血管新生を阻害する方法であって、患者における血管新生が阻害されるよう、請求項39記載のヒト膜貫通タンパク質の可溶型を、患者へ投与することを含む、方法。

【請求項42】

患者が血管が新生した腫瘍を有する、請求項40の方法。

【請求項43】

患者が血管が新生した腫瘍を有する、請求項41の方法。

【請求項44】

患者が腎多嚢胞病を有している、請求項40の方法。

【請求項45】

患者が糖尿病性網膜症を有している、請求項40の方法。

【請求項46】

患者が慢性関節リウマチを有している、請求項40の方法。

【請求項47】

患者が乾癬を有している、請求項40の方法。

【請求項48】

患者が腎多嚢胞病を有している、請求項41の方法。

【請求項49】

患者が糖尿病性網膜症を有している、請求項41の方法。

【請求項50】

患者が慢性関節リウマチを有している、請求項41の方法。

【請求項51】

患者が乾癬を有している、請求項41の方法。

【請求項52】

患者における血管新生の領域を同定する方法であって、

検出可能部分と結合している、配列番号：200に示されるようなTEMタンパク質3の細胞外ドメインと特異的に結合する抗体可変領域を含む分子を、患者へ投与すること；および患者における検出可能部分を検出し、それにより血管新生を同定することを含む、方法。

【請求項53】

患者における血管新生をスクリーニングする方法であって、配列番号：200に示されるようなTEMタンパク質3の細胞外ドメインと特異的に結合する抗体可変領域を含む分子と、患者から収集された体液を接触させ、体液中の分子と交差反応物質の検出を、患者における血管新生の指標とすることを含む、方法。

【請求項54】

患者において腫瘍内皮細胞に対する免疫応答を誘導する方法であって、ヒトTEMタンパク質に対する免疫応答が誘導されるよう、配列番号：291、293、299、295、303、297、301、305、および307に示されるような：1、2、3、9、13、17、19、22、および30からなる群より選択されるマウスTEMタンパク質を、その必要がある患者へ投与することを含む、方法。

【請求項55】

腫瘍治療用の候補薬物を同定する方法であって、
配列番号：199に示されるようなTEM3遺伝子を発現している細胞を試験化合物と接触させること；

該細胞のmRNAの、該mRNAに相補的な核酸プローブとのハイブリダイゼーションにより、該1個またはそれ以上のTEM遺伝子の発現を測定すること；および
該1個またはそれ以上のTEM遺伝子の発現を減少させる場合、試験化合物を腫瘍治療用の候補薬物として同定することを含む、方法。

【請求項56】

細胞が内皮細胞である、請求項55の方法。

【請求項57】

細胞が、1個またはそれ以上のTEMをコードする発現構築物によりトランスフェクトされた組換え宿主細胞である、請求項55の方法。

【請求項58】

腫瘍治療用の候補薬物を同定する方法であって、
配列番号：200に示されるようなTEM3タンパク質を発現している細胞を試験化合物と接触させること；

該細胞内の該1個またはそれ以上のTEMタンパク質の量を測定すること；および
該細胞内の1個またはそれ以上のTEMタンパク質の量を減少させる場合、その試験化合物を腫瘍治療用の候補薬物として同定することを含む、方法。

【請求項59】

細胞が内皮細胞である、請求項58の方法。

【請求項60】

細胞が、1個またはそれ以上のTEMをコードする発現構築物によりトランスフェクトされた組換え宿主細胞である、請求項58の方法。

【請求項61】

腫瘍治療用の候補薬物を同定する方法であって、
配列番号：200に示されるようなTEM3タンパク質を発現している細胞を試験化合物と接触させること；および

該細胞内の該1個またはそれ以上のTEMタンパク質の活性を測定すること；および
該細胞内の1個またはそれ以上のTEMタンパク質の活性を減少させる場合、その試験化合物を腫瘍治療用の候補薬物として同定することを含む、方法。

【請求項62】

細胞が内皮細胞である、請求項61の方法。

【請求項63】

細胞が、1個またはそれ以上のTEMをコードする発現構築物によりトランスフェクトされ

た組換え宿主細胞である、請求項61の方法。

【請求項64】

腫瘍を保持している患者の治療用の候補薬物を同定する方法であって、
配列番号：200に示されるようなTEM3タンパク質をコードする発現構築物によりトランスフェクトされた組換え宿主細胞と、試験化合物を接触させること；
該細胞の増殖を測定すること；および
該細胞の増殖を阻害する試験化合物を、腫瘍を保持している患者の治療用の候補薬物として同定することを含む、方法。

【請求項65】

内皮細胞調節に関与しているリガンドの同定のための方法であって、
配列番号：200に示されるようなヒト膜貫通タンパク質TEM3と、試験化合物を接触させること；
試験化合物のヒト膜貫通タンパク質との結合を決定し、タンパク質と結合する試験化合物を、内皮細胞調節に関与しているリガンドとして同定することを含む、方法。

【請求項66】

哺乳動物において免疫応答を誘導する方法であって、哺乳動物においてヒト膜貫通タンパク質に対する免疫応答が誘導されるよう、膜貫通タンパク質をコードするベクターを含む組換え宿主細胞であるか、または樹状細胞と腫瘍内皮細胞との融合体である、配列番号：200に示されるような膜貫通タンパク質TEM3を発現している細胞を、哺乳動物へ投与することを含む、方法。

【請求項67】

血管新生を阻害する方法であって、血管新生が阻害されるよう、それぞれ配列番号：291、293、299、295、297、および301に示されるような：1、2、3、9、17、および19からなる群より選択されるマウスTEMタンパク質の細胞外ドメインと特異的に結合する抗体可変領域を含む単離された分子を、有効量、その必要がある被検体へ投与することを含む、方法。

【請求項68】

被検体がマウスである、請求項87の方法。

【請求項69】

被検体が血管が新生した腫瘍を有する、請求項87の方法。

【請求項70】

被検体が腎多嚢胞病を有している、請求項87の方法。

【請求項71】

被検体が糖尿病性網膜症を有している、請求項87の方法。

【請求項72】

被検体が慢性関節リウマチを有している、請求項87の方法。

【請求項73】

被検体が乾癬を有している、請求項87の方法。